

# 青於藍

～藍よりも青く～



2016年6月30日発行 第4号  
発行：福島県立相馬高等学校第1学年

## 私の文理選択

高校生活も丸3カ月が過ぎようとしています。みんなにとってはどのような3カ月でしたか。充実していた人、慣れるのに必死だった人、すでに少しだらけてしまった人など、さまざまだと思います。しかしわずか3カ月でも、学校行事もあり、初めての定期考査も行われましたね。さらに、初めてのテストの結果に一喜一憂している中で、文理選択の希望調査も行われました。まだピンと来ない人も多いと思いますが、今回はそんな文理選択について触れたいと思います。

私自身の話になりますが、私は典型的な文系だったため、高校時代の文理選択には何の迷いもありませんでした。ただ、その先の目標が明確だったと言われると、当時はそうでもなかったような気がします。今のみんなのように、悩んでいた時期もありましたが、それでも文理選択の決め手になったのは、私の場合、英語の勉強を続けていきたいと思ったことでした。なぜ英語かと言うと…きっかけは、よくある海外への“憧れ”です。幼少期にシンデレラの絵本の読み聞かせを英語で聞いて、幼心に遠い別世界への憧れが生まれました。その憧れを現実の世界とつないでくれるのが、私の中では英語だったのです。もちろん後々勉強していくと、楽しいことばかりではありませんでしたが、今こうして毎日英語に触れていられるのも、高校生のとき、この先も英語を勉強しようと心に決め、大学を選んだことから始まりました。振り返ると、何が決定打になったというわけではなく、一つ一つ、その時々で感じたことの積み重ねだったのだと思います。

おそらく、判断を決定づける劇的な出来事というのは、みんなにとってもそうそうあることではないと思います。でもだからこそ、短絡的に今この教科が得意、苦手というのではなく、これまでの自分が考えてきたことやこれから自分がどうなっていきたいのかをしっかりと見極めて、選択していただきたいと思います。

人生を左右するような大きなものから日常の些細なことまで、人生は選択の連続です。しかもそれには、多くの場合大なり小なり後悔が伴うものです。『これでよかった!』と思えるようになるのは、結果がついてきたときにそう思えるのであって、それまではどんな道に進んでも、悩み、迷うものです。ただできるだけ大きな後悔をしないようにするために、目の前のことに全力で取り組むしかありません。何かに迷ったら、目の前のことをとにかく頑張ってみる。そうやって私も過ごしてきた気がします。今みんなの目の前にあること…そう、期末テストですね。一つ一つ乗り越えた先に見えるものがあるはず! 健闘を祈ります。  
(3組担任 菅野真由)

## 7・8月の行事予定

- 7月 1日(金)～5日(火) 期末考査
- 5日(火) 看護系・自衛隊希望者説明会
- 7日(木) 進路講演会 宮越哲雄氏(明治大学理工学部名誉教授。専門は化学。)
- 8日(金) 特別時間割(4校時)
- 9日(土) 進研記述模試(全員)
- 14日(木)・15日(金) 球技大会
- 21日(木) 1学期終業式
- 22日(金)～28日(木) 夏期課外(全員)・三者面談
- 28日(木) 東北大学説明会(希望者)
- 29日(金) 中学生対象スクールガイダンス
- 8月 22日(月)～24日(水) 強化学習会(希望者)
- 26日(金) 2学期始業式・服装頭髪検査・課題確認テスト
- 27日(土) 全統記述模試(全員)



## 朝学習について

1学年では朝のSHR前の10分間をテスト等の学習時間に充てています。テストで一定の点数が取れなかった生徒は放課後再テストや補習があります。また、毎回クラスごとの平均点も発表されます。

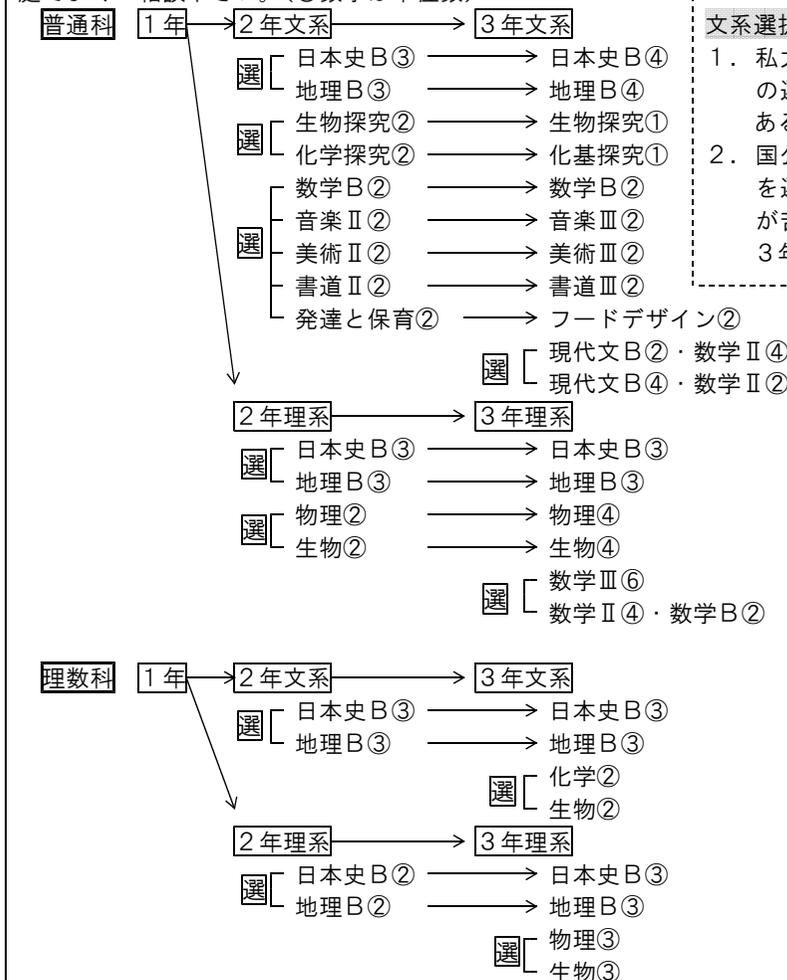
テストの内容は事前にしっかり学習しておけば合格できるレベルですが、毎回多くの生徒が不合格となり、放課後の再テストや補習を受けることとなります。「不合格でも再テストを受ければよい、補習を受ければよい」と安易に考えている生徒が多いと感じています。後ろ向きの勉強ではなく、目標を高く持って自分から学習に向かう習慣を身につけてほしいものです。



月	数学テスト
火	英単語テスト
水	自学自習
木	漢字学習
金	英語速読テスト

## 2年次以降の文理分け・科目選択について

相馬高校では普通科・理数科ともに2年次に進級するときに文理分けを行います。先日第1次の希望調査を行いました。最終決定は10月ですが、大学入試等と関わる問題ですので、夏休み中にご家庭でよくご相談下さい。(○数字は単位数)



**文系選択時の注意事項**

- 私大や国立大2次試験で社会の選択科目に地理が無い大学もあるので注意すること。
- 国立大学進学希望者は数学Bを選択するのが望ましい。数学が苦手な生徒が選択する場合は3年まで続くので覚悟すること。



高校の3年間はあっという間に過ぎていきます。卒業後の進路目標を早めに設定し、進路希望に合った文理選択、科目選択をしましょう。この夏休み中にぜひ志望する大学や短大、専門学校のオープンキャンパスに参加し、進学先の雰囲気を感じてきてほしいと思います。